

## 12月定例会概要

平成21年12月定例会は11月27日に招集され、12月16日までの20日の会期で行われました。  
今定例会では平成21年度一般会計補正予算(総額2億7万2000円)・平成21年度特別会計・事業会計補正予算(総額3419万3000円)の各予算案9件のほか、条例の改正案など19件の計29議案が市長から提出されました。



議場に議会中継用テレビカメラが設置されました

招集日には、人事院勧告に関する条例改正案3件を総務委員会に付託し、審査報告を受け、採決の結果、原案のとおり可決されました。  
7日から9日にかけては、一般質問に14名の議員が登壇し、11日には総務・産業建設・社会文教委員会へ付託された議案について審議しました。  
最終日16日には、提出された議案について、すべて原案のとおり可決・承認されました。また、請願1件、陳情2件の審査の結果については、2件を採択、1件を趣旨採択としました。

## 委員会審査

11月27日の招集日に条例案3件を総務委員会へ付託し、12月11日には、他の議案について委員会へ付託し、それぞれ審査が行われました。

### 総務委員会

当委員会に付託されました議案は、招集日に条例案3件、12月11日には、平成21年度飯山市一般会計補正予算の関係部分及び、特別会計補正予算案2件、事件案4件の計7議案でした。  
審査の結果は、全議案すべて全員一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

### 産業建設委員会

当委員会に付託されました議案は、平成21年度飯山市一般会計補正予算の関係部分及び、特別会計補正予算案6件、条例案3件、事件案4件の合計13件でした。  
審査結果は、全議案すべて全員一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。  
請願3号「EPA・FTA推進路線の見直しを求め日米FTAに反対する請願」につきましては、全員一致で採択すべきものと決しました。

### 社会文教委員会

社会文教委員会に付託されました議案は、平成21年度一般会計補正予算案の關係部分及び特別会計補正予算案2件、条例案1件、事件案3件、専決処分事項承認を求めることについて1件の合計8議案でした。

審査結果は、全議案すべて全員一致で原案のとおり可決または承認すべきものと決しました。

陳情第13号「現行保育制度の堅持・拡充と保育・学童保育・子育て支援予算の大幅増額を求める意見書提出を求める陳情」については、飯山市の現状は、保育の面では他市町村に後れをとっている部分は少なく、現行保育制度の堅持の趣旨については理解できるが、現在、国においては子育て支援予算関係について検討されているところであり、国に対してではなく、これからの飯山市の保育行政が後退しないよう現行保育制度を堅持し、地元行政でしっかり対応すべきとの意見があり、賛成多数で趣旨採択とすべきものと決しました。

新中学校のスクールバスの購入について、車体の色は城南中学校・城北中学とそれぞれのスクールカラーが使用される予定とのこと、次のような意見が出されました。  
現在運行されている保育園や小学校のスクールバスにおいてもそれぞれ独自のカラーが使用されている。飯山市のスクールバスと二目でわかるように、市として統一したカラーを決めた方が良いのではないか。これは、教育委員会だけでなく飯山市の事業すべてにつながることもあり、飯山市としてひとつの筋を通した発想を持つべきとの意見がありました。

## 一般質問

12月7日、8日、9日の3日間にわたり、14名の議員から市政に対する一般質問が行われました。

## 観光立市を謳い 全市民挙げて推進



小林洋之議員

くることが非常に大事になる。

◇これからの過疎高齢化集落

【質問】普通の人にとって人生を送る主な舞台は、その人が生活している集落にある。だから集落の機能を無くしてはならない。対応策はどのように考えているか。

【市長】「お年寄りに安心安全を与える」という基本姿勢の中で取り組む。

【部長】すでに各種事業や支援を集落機能低下の予防策として進めている。問題点が表面化している集落は、活性化センター中心に具体策の検討に入っている。

### 目指す社会教育

【質問】現代は家庭内、隣近所、親戚同士、集落内も人間関係のつながりは弱い。社会教育によって市民の元気を取り戻してほしい。



瑞穂福島の阿弥陀堂スケッチ

【市長】教育基本法第12条を基本に位置づけ、これからの社会教育に取り組む。

【教育委員長】今までの市の社会教育は学び方が中心、一歩前へ進めて飯山について語る人材をいかにつ